

The image features a leopard print background. A horizontal yellow banner is centered across the image, containing white Japanese text. The text is arranged in two lines: the top line reads 'カンチクアワード2024' and the bottom line reads '受賞LOM・受賞者'.

カンチクアワード2024

受賞LOM・受賞者



プロスポーツチームと一緒に啓発活動

公益社団法人 浦安青年会議所

理事長名

柳 毅一郎

参加人数

浦安市民
約2100名

事業内容

実施に至る背景

浦安市には、本町、中町、新町という地域の呼び名がある。それぞれの地域ごとに異なる表情をもつまちとして発展したゆえに、住む世帯の年齢層や考え方の違いなどから地域間を超えての交流が減っている。浦安市民の地域共通の話題を提供する機会が必要。

目的

浦安の地域資源であるプロスポーツチームを浦安市民が認知し、プロスポーツチームが共通の話題となることを目的とする。

概要

浦安の地域資源であるプロスポーツチームと連携し、交通安全の重要性を広く啓発する取り組み。プロスポーツチーム3団体と浦安青年会議所が力を合わせて市民の生活向上に資する一つの目的に向かい活動している様子を市民の目に触れさせることで、好意的な印象とともに各団体の市民の認知度を上げた。



つくいこどもマルシェ

公益社団法人 津久井青年会議所

理事長名

川原 諒介

参加人数

小学校1年生～6年生
の生徒20組

事業内容

実施に至る背景

コロナウイルス感染症の蔓延によって、今の子ども達は社会性や対人関係能力を身に付ける機会が減り、自身の気持ちや考えを表現出来ない子ども達が増えている。集団の中で自身の意見を表現し、他人の意見を尊重し、自ら行動する力を身に付けることが必要。

目的

人と人とのつながりや、お金の扱い方、モノづくりの面白さを知ってもらうことで、子ども達の創造力と主体性を育み、自身の可能性を信じ行動できる人材の育成を目的とする。

概要

子ども達の個々の自主性を伸ばし、自分の未来を切り開く力を育てることを目的として子ども達が自分たちで作った作品を展示し、提供するマルシェを開催（第7回つくい湖湖上祭内開催）。
仮想通貨で子どもたちの作品も購入できた。

カンチク最優秀会長特別賞／カンチク優秀事業賞

地域連携パートナー獲得部門



第3回熊谷ジモト化プロジェクト ～ときどき防災ランド～

一般社団法人 熊谷青年会議所

理事長名

中島 悠太

参加人数

熊谷を生活圏とする
方々 7,800名

事業内容

実施に至る背景

熊谷を生活圏とする人々に安全・安心なまちだと認識してもらうことで、ジモト化を推進する。熊谷青年会議所の防災・減災への取り組みと災害時に迅速に対応できる仕組みを周知する事で、熊谷を生活圏とする人々に熊谷が安全・安心なまちだと認識してもらう。また、熊谷の多様な「ヒト・コト・モノ」をつなげる事業「熊谷ジモト化プロジェクト」を構築しジモト化の推進をしていく。

目的

熊谷を生活圏とする人々に、熊谷が安全・安心なまちだと認識してもらい、熊谷への愛着を高めてもらう。

概要

施設前を歩行者天国にした会場に、警察、消防、自衛隊車両を展示し、子ども用の制服を着て記念撮影ができる「働く車大集合エリア」、市内の個人店を中心に21の飲食店が並ぶ「熊谷食堂エリア」、キャンピングカーの展示や給電の実演があり、公衆電話の使い方を学ぶ「ライフラインエリア」、避難所体験ができる「防災学校エリア」を設けた。「体験型ブース」には、震度5強の揺れを体験できる起震車、仮想の煙を使って3.6メートルのテントを進む煙体験テントも用意。地元コミュニティラジオ放送局「FMクマガヤ」が防災発信ブースで生放送を行い、イベントの様子を伝えた。



地域の宝 牛久シャトーで夏祭り ～日本遺産で作る夏の思い出～

一般社団法人 牛久青年会議所

理事長名

美澤 貴人

参加人数

市内在学小・中学生、保護者
1,056名
一般参加者 約2,000名

事業内容

実施に至る背景

40周年の節目を迎えるにあたり、次代に向けて運動を繋げていくためには、今以上に地域市民に青年会議所運動を理解してもらい賛同を得ることが重要。地域資源を活用し、地域市民に向けて力強く運動を発信する必要がある。

目的

子供たちをとおして地域市民に一般社団法人 牛久青年会議所の運動を知ってもらい、40周年に向けて地域を活性化する。

概要

牛久市が誇る日本遺産の牛久シャトーにて、牛久市にまつわる謎解きゲームのほか、市内飲食店・キッチンカーの出店で参加者に牛久市近隣地域の食事を楽しんでもらうほか、子どもたちが願う牛久シャトーの未来をシールで掲示し地域愛の醸成を図った。

LEDスカイランタン®を打ち上げて牛久シャトーの夜空をライトアップした。

東京都知事選挙ネット討論会



東京都知事選挙 ネット討論会 主催：公益社団法人東京青年会議所

フルオンライン視聴数: **300万超**

国内主要メディア報道数: **28社**



NIKKEI



切り抜き動画視聴数: **4,000万超**



東京都知事選挙ネット討論会

公益社団法人 東京青年会議所

理事長名

高木 隆太

参加人数

現地 一般61名

オンライン 一般31,457,602名

事業内容

実施に至る背景

【問題点】東京都選挙管理委員会が令和2年7月5日に執行された東京都知事選挙に関する世論調査によると、投票率は55.0%で前回比4.7ポイント減であったが、有権者全体の中で選挙に「関心があった」との回答が79.8%と高い値を示したものの、「投票した」との回答は前回比5.0ポイント減の76.8%と、投票率と同様に下降傾向となった。

【原因】有権者が投票しない理由の中で①「適当な候補者がいなかったから(24.9%)」②「候補者の人柄や政策がわからなかったから(12.0%)」という理由があげられ、かつ前々回の討論会と比較すると①15.2%増②10.8%増となっている。これはコロナ禍による影響があると考えられるが、問題点で投票率が下がっていることからわかるように、有権者にとっては候補者の政策・主張・人柄を見る機会を増やすことが投票率へとつながる。

目的

有権者が投票の為に候補者の政策・主張・人柄を知る機会を増やすこと。

概要

各候補者の政策・主張を見極めやすくするための情報提供として政策比較表を作成・公開のうえ、ネット討論会を開催。短い選挙期間の中で候補者の政策・主張・人柄をもっと知りたいと考える有権者に対して、候補者の政策・主張・人柄を知ることが可能とした。生配信及びアーカイブ配信（ニコニコ、リハックYouTubeチャンネル、東京青年会議所YouTubeチャンネル）を行い、多数の視聴につなげた。



やまなしテルマエまつり

一般社団法人 甲府青年会議所

理事長名

東原 広幸

参加人数

3,092名

事業内容

実施に至る背景

湧き上がれ地域の魅力事業の成果を活かし、多くの人に地域資源の魅力を実感してもらうことで、にぎわいあるまちづくりへの新たな契機となる例会を開催する。

目的

山の都が誇る地域資源である「温泉銭湯」の魅力を県内外の多くの方へ伝え、にぎわいあるまちづくりへの新たな契機とするために開催する。

概要

おまつりゾーンのステージイベントでは、湯るキャラゆ～ゆのPRおよび温泉銭湯の魅力や課題を伝えたほか、ゴッドサウナー講演や銭湯落語、山梨の温泉銭湯にまつわるトークセッション「セントーク」を開催。温泉水足湯体験コーナー、縁日コーナー、フリースロー体験コーナーを設けたほか、ポイポイバトラー大会の開催やアウトドアサウナ体験等を提供した。



全国高校生アマチュアバンド選手権 TEENS ROCK 2024 GP FINAL IN HITACHINAKA

一般社団法人 ひたちなか青年会議所

理事長名

萩谷 樹莉

参加人数

決勝大会出場バンド 14組
当日観客数 500名

事業内容

実施に至る背景

TEENS ROCK IN ひたちなかは、高校生の高校生による高校生のための音楽の祭典をテーマに掲げ、ひたちなか市他、多くの団体・企業、個人のご協力をいただき、今年で21回目を迎える。音楽を通じて、人に何かを伝えることの素晴らしさ、夢を諦めない大切さの実体験を兼ね備えた次世代を担うリーダーを多く輩出できる機会が必要。

目的

高校生が実行員会の主体になることで、音楽を通じて目標に向かって努力する意欲を培い、仲間意識や、責任感、リーダーシップ、社会性をはぐくむ機会を創出する。また全国で地区予選大会を開催することで、TEENS ROCKのブランド価値を向上させる。

概要

音楽のまちひたちなかを周知していくために外部に向けた発信をするとともに、本年度は初の試みとして、茨城県大会および、決勝大会をひたちなかの地で開催。TEENS ROCKの魅力と活動内容を全国に広げるために、日本各地のLOM・団体とパートナーシップを結び地区予選大会を開催することで、本事業のブランド価値向上を図った。ボランティアスタッフを募集し、企画、運営から携わることにより会員拡大にもつなげた。



松戸JC×地域の輪
～坂川清流秋祭り～

公益社団法人 松戸青年会議所

理事長名

渡辺 大起

参加人数

馬橋地区を中心とした松戸
市民及び近隣の市区町村住
民 10,000名

事業内容

実施に至る背景

松戸市は人口が微増しているが、明確な定住意欲がないため、近隣の市より転出数が多くなり、結果として永く住み続けてもらえない傾向がある。永く住み続けてもらうためには、住まう地域に誇りと愛着を感じてもらう必要がある。

目的

地域に対する誇りと愛着を感じ、松戸市に住み続けたいという定住意欲を醸成する。

概要

惜しまれながらも2015年以降開催ができなくなってしまった坂川清流祭り（通称：馬橋祭り）を復活させ、西馬橋町会を中心とした住民を巻き込み、ともに事業を作り上げることで、住まう町への誇りや愛着を醸成する。馬橋駅西口の道路（350m）を貸し切り、歩行者天国としたうえで、各団体の催し物の披露と、キッチンカーやブース出店を募ることで、賑やかなお祭りを開催する。

会長奨励賞

効用最大化事業開発部門



こだま防災フェス2024

公益社団法人 こだま青年会議所

理事長名

長沼 克

参加人数

2,105名

事業内容

実施に至る背景

近年様々な災害が各地で頻繁に起こっているなか、こだま地域は比較的災害が少なかった地域であるため住民の防災意識や当事者意識は低く、対策が後回しになっている。突如として発生する災害に備えて平時にこそ適切な準備をすることが急務である。また、年初に起こった災害の経験から防災に対する機運が非常に高まっている。

目的

人が災害を正しく知り対処できる自助の形成と、いままで希薄であった地域住民と関連団体とつながりを増やすことで共通課題を持ち、地域全体の意識を高めることが共助体制の基盤となります。自助、共助をいままで以上に強化することで地域が安心して住める場所となることを目的とする。

概要

消防・警察ブース、水没車展示ブース、起震車ブース、出店・体験ブース、段ボール迷路ブースでの体験を通じて、防災意識を高め、災害時に必要となる知識を深めるとともに、地域の防災関連団体の活動を知ってもらうことで、災害時の共助体制を構築するきっかけとした。



情報発信の挑戦 未来をつくる若者に聞く

一般社団法人 横浜青年会議所

理事長名

萩原 幸雄

参加人数

一般参加者 89名
メンバー 237名

事業内容

実施に至る背景

現代社会は、触れない日は無いと言ってよいほどSNSが浸透している。ただ、積極的にビジネスや個人のブランディングに活用できている人は多くない。社業や地域がさらに輝くために、デジタルネイティブであるZ世代の価値観や情報発信の方法を身に付けていく必要が高まっている。

目的

横浜JCが挑戦し続ける姿に共感を得て応援してもらうこと。メンバーがZ世代の価値観や情報発信の方法等について学び、自社のブランディング、採用手法等の社業に役立てること。

概要

数十万のフォロワーをかかえるインスタグラマーと共にSNS運用代行のサービスを展開している若い講師二名に、SNSの活用や情報の発信の方法を講演してもらうとともに、トークセッションでは講師二名からバズりの作り方やSNSを活用した課題解決などをうかがった。

カンチクHOPE賞



大原 夢果

公益社団法人 船橋青年会議所

LOMからのエール！

千葉ブロック協議会では委員長、LOMでは拡大を成功させ、プロモーター資格も取得しました。今後の活躍に期待します。



荒川 和希

一般社団法人 たかはらさくら青年会議所

LOMからのエール！

昨年度入会ながら地区でも積極的に活動しその学びをLOMで発揮してくれた行動力、実行力は今後もLOMと自身の飛躍に繋がると確信しています!これからも荒川くんの活躍に期待しています!共に頑張ろう!

カンチクHOPE賞



江藤 優二

一般社団法人 東入間青年会議所

LOMからのエール！

江藤優二くんは今年度関東地区の副委員長を務めました。来年度はLOMの副理事長とメイン事業実行委員長を兼任しますが、それと併用して関東地区にもコミットできる人材です。埼玉の東入間の中心として、そして関東でも活躍し続ける江藤優二くんを応援しています、優二頑張れ!!



大場 悠貴

一般社団法人 八潮青年会議所

LOMからのエール！

八潮青年会議所としては久しぶりのエース（24歳）が入会してくれました
八潮の至宝として大切に時には厳しく成長の機会を提供していきます
2年目でLOMの委員長 ブロックのスタッフに。
渋谷会長予定者とも繋がってるので来年以降は関東地区も視野に

カンチクHOPE賞



戸田 和樹

上野原青年会議所

LOMからのエール！

LOMでは2019年と2021年に専務理事を2度経験し、2022年はブロックの事務局長、2023年はブロックの副会長、2024年は理事長を経験しております。2025年はブロックの副会長として活躍しますので、2025年以降の地区への出向に期待します。(直前理事長より)